隹

ハルビン市師範学校との交流会について――――――――――――――――――――――――――――――――――――	見岡記42 山形県高校生代表訪中団 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	国内拠点奈良に開設 場の紹介の4 アジア太平洋地域文化遺産保護協力活動の	十 東京国 研・	多様な価値創造に向けたネットワークの創出に向けて―――神奈川県藤野町 9個紹介②3 藤野 アーティスト・イン・レジデンス コージェンス	事例紹介①34 静岡発 『希望への貌(CREAT-NG HOPE)』	1 32 ケルンにおける東大寺展—ロ「アデーレ・シュロムス」 エッセィ30 人は民族に還る—————横井 茂	清 	を 考える (HR#)	「手年紀の国際文化交」	後頭 1 1 1 1 1 1 1 1 1
78 海外教育ニュース		74 めざせシドニー五輪 - 自転車競技	中奈川県下日京市、記号寺県――――――――――――――――――――――――――――――――――――				再現された東院庭園 再現された東院庭園 再現された東院庭園	カ 表2名作シリーズ 無垢の笑い	4 この道を行く 4 この道を行く	1 記念館めぐり●ゆかりの地を訪ねて (愛知県)

文化庁長官官房総務課文化政策室

84 83 82 80 78 刑行物紹介 編集後記

55 日韓文化交流会議について 48 国際交流基金による交流プログラム 44 文化庁の国際交流・協力に関する施策

出席者(敬称略・発言順)

永井多惠子



2000年紀の 考える

わたって総合的な文化紹介事業を展開し 日本に来て、 うに思います。 た。これは非常に象徴的な話であったよ いかに魅力あるものかを売り込むために ちの二人の首脳が、 式に臨んだ。サミッ しかもそれぞれが一年間に いわば自国の文化が ト参加国七か国のう

統領の日本訪問、一九九九年三月の小渕 の一つが文化でした。 総理の訪韓時の首脳会談での主要テー また、 また、二〇〇〇年の沖縄サミットでは 一九九八年秋の韓国の金大中大

るために、 沖縄、宮崎、福岡のほうでは、 サミット参加国に送る。他方、 踊とか沖縄の音楽だとかを海外に紹介す に象徴的なことだと思います。 うことで準備が進んでいる。これも非常 まして一斉に沖縄伝統芸能ミッションを っている。 が、準備段階で非常に大きなテー サミットと文化の組み合わせということ 自分の伝統芸能を紹介をしたいとい この三月からサミットにかけ 具体的に申しますと、 各市町村 開催地の 琉球舞 マにな

が一番早いと思うんですね。東欧のいろ 私たちが外国のことを理解する やはり文化のこと

> 行政を担当する私としましても大変うれ 文部時報でこの特集を組むことは、文化 林田 ちょうど二○○○年が始まる最初の月の 際文化交流を考える」ということですが います。本日のテーマは「二千年紀の国 しく思っています。 席いただきましてどうもありがとうござ きょうはお忙しいところを御出

ただければと思います。 場で感じていらっしゃることをお話し も、そのあたりについてそれぞれのお立 いうものを、非常に感じるのですけれど 際的な文化交流に対する期待の高まりと LV

最初に、文化庁におりましても特に国

対する期待 国際文化交流に



が、日本の中でも非常に危ういところが が、文化というものの国家的な位置付け 国人の自分の国の文化を普及しようとい いでになります。もちろん日本への期待 ないか、というようなことで、 ういう最先端のものがあるよ、 使館の文化アタッシェがフランスにはこ 共のような小さな地域の文化施設にも大 普及に非常に力を入れておられます。 を持って、フランス語とフランス文化の を席巻することについて相当な危機意識 フランスは、単一の言語や文化が世界中 大変な外国の攻勢を感じます。例えば、 ですね。最近私のところの文化施設でも のある方々の間に、文化とは何かという ある。率直に言って国の相当な知的水準 かねがね思っていたわけです。最近ちょ えるというのは、本当に大事なことだと けですね。ですから私は自国の文化を伝 た世界遺産が手がかりになったりするわ ばクロアチアに行きましても、破壊され いろな戦跡のむごたらしい所でも、例えて日本こはするフランス手の引き 席をした。それから四月にはシラク大統 いということは、非常に残念だと思うん ような問題がまだしっかりと根づいてな っと変わってきたのかもしれないのです が訪日をして、 は、一月にまずイギリスのブレアー首相 実感いたします。例えば、一九九八年に が、年々非常に高まってきていることを 外関係における文化の重要性というもの の位置付けで仕事をしておりますが、 ●榎 私の場合には外交の中での文化と 英国祭九八の開会式に出 今度やら

いますね。 う意気込みには、 まだまだ日本は負けて

本の文化が高まっていくためにはいろい ございましたけど、 ● 林田 ろな国際交流が重要な意味を持つという 今かなり外交的な側面 文化庁はこれまで日 面の議論が

●槓 泰邦氏 対外関係における文化の重要性は年々 高まり、首脳が直接自国文化の紹介にカ を入れるようになっている。日本として も文化面で世界をリードしていける国と いう評価を高める必要がある。

と、やはり日本の戦後の文化で、舞台芸 他国の文化と触れ合ってということです

か、

心を重視するかというアンケートで

● 林田

今のお話でいかがですか。

ダンスを通じ舞踏全体が評価されたとい ダンスが育ったと思います。 そこで勅使川原三郎という独自性のある 一つやればいい、と。一年間保証しよう じの助成なんですがフランスやドイツの の場合ですと公演を何回やればという感 という形で育てられたわけですね。日本 で認められフランクフルトで創造の援助 で賞をとったのをきっかけにヨーロッパ この人はフランスでバンタレコンクール 勅使川原三郎という人なんですけども、 ンテンポラリーダンスの第一人者である し影響を受けながら洗練されたのが、コ 影響を与えておりますね。その舞踏に少 劇に近いようなものにまで非常に大きな ダンスや最近はパフォーマンスという演 っと着けた独自のダンスですが、欧米の のダンスとは全く違う、 いう人が創造した、爪先立つような西洋 というのがありまして、これは土方巽と 術の分野でいいますと、 というように時間を保証するんですね。 彼について、 クリエー かかとをべしゃ 日本独自の舞踏 そして彼の ションを

> けども、今のお話でいかがですか。 あるのではないかという気もするのです そういう意味では新しい時代になりつつ とが法律の中にも書かれたということは 化交流についても頑張れというようなこ 文化を外国に紹介していくという点でも ●榎 新聞の世論調査で、物を重視する 文化庁は文化行政の機能の充実を図れと か外務省ともっと連携を密にして国際文 けですけれども、そういう際にももっと から新しい国の行政組織ができていくわ も確かに感じています。特に二〇〇一年 もっと頑張るべきだということは、私共 った日本が、国の重要な政策として日本 わけです。それから永井さんのおっしゃ うなこともかなり重点的に拡充している ろな公演をなさるのを応援するというよ ツ・プラン21」で、外国へ行っていろ

ところで文化庁の予算を見ましても、収をするということは非常に重要なこと の文化を日本に持ってきて、そこから吸 足感を求めてるという中において、外国 になっている。国民が文化的精神的な充 多いと思いますね。 関係者の中でも元気が出てきたところが この線を是非堅持していただきたいです の水準だとすれば、どうやら○・一ぐら た。普通国家予算の一%というのが欧米 この不景気の中でずっと右肩上がりでき 心を重視するというのが八○%近い数字 ついたなという感じがするわけで、文化 ね。そういう意味でこれからスタートに いはクリアしたのかなあという感じで、

題があります。これを事業助成という形 これをどういうふうにするかという大課 するに当たってもとても大事だと思いま していただくということが、国際交流を よりは人材の育成に重点を置いた政策を は非常に金のかかる育ちにくい分野で、 ればならないのであるが、特に舞台芸術 国際交流の前に自国の文化を育てなけ

推進と国の役割国際文化交流の



国家のかかわりという点では、 ●榎 の文化政策というのは非常に参考になる わけです。フランスが、一八七一年に普 永井さんのおっしゃられた文化と フランス

ています。この点でも最近例えば「ア ような視点でのいろいろな応援をしてき 位置付けられる部分の両方の視点がある んだろうと思います。これだけ国際化が る部分と、国内での文化の発展の延長と いうのは、対外関係の中で位置付けられ から申し上げますと、確かに文化交流と 分輸入アイテムの中で文化品が一番だと 第一番に経典、書籍を輸入していた。多 や銀を韓国や中国にせっせと輸出しては ども、奈良時代あるいは室町時代に砂金 においては大変な国だと思うのですけれ と思います。 いう国は、 それから林田さんのおっしゃられた点 そもそも私は日本という国はある意味 世界の中でもそうないと思い

●永井 もちろん日本はフランスと文化 仏戦争で負けて、どうも軍事力じゃドイ違いないですね。今おっしゃったように 化財を持った誇るべき国であることは間 けですね。我が国は本当にすばらしい文 的な財産というのは何なんだというすご ツに勝てない。フランスにとっての外交 のすばらしい木彫の仏像を出していくわ フランセーズですね。ですからそれ以来 の財産を使わないことはないということ れは文化だ、特にフランス語である。こ 一世紀以上の歴史がある。 い大論争があった。その結果、やはりそ 一八八三年にできたのがアリアンス

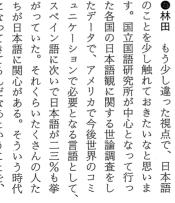
仕事ですから文化庁ばかりではなくて、 ことについては支援があったと思うんで ろいろな面で行政的な公的なお金を使う ればならないことだと思うんですね。こ 各省庁、地方公共団体、それから民間の ●林田 文化の振興は大変広がりのある の振興は、大変な追い風、国民の支援が の中に自然と出てくるものでして、 うな国民意識の変化は政治、行政、 いという国民的欲求が高まって、 いうか芸術的、文化的な欲求を満たした 日本でも近年は、物よりもやはり心と まで特にハードについては、かなり ろいろな力と合わせてやっていかなけ ックにある行政分野だろうと思います。 ソフトにどんな形がいいのか。 このよ 文化 外交

省と手を相携えて国際文化交流を推進し ていく時代に入ってる、と私も思います。 くなってきていて、まさに文化庁と外務 進んできますと、そこの垣根が非常に低 2000 年紀の国際文化交流を考える

●永井多惠子氏 私たちが外国のことを理解する手がかりと いうのは、文化が一番早い。そういう意味で、 自国文化を諸外国に伝えるということは大へ ん大事なこと。また、一歩進んで互いのもの を見せ合うという段階から、一緒にものを作 るという時代になっている。 M. A.S.

含めて、 ともやっております。 域の芸術施設で巡回をしていくようなこ う側面もありますので、学校の中とか地 ていくようなことになりますと、 それをやるとなると、なかなか難しい面よかなり申げてきましたけど、ここ数年 で一〇年ぐらい前からは文化庁予算自体 ければならないと思います。おかげさま と御協力をして、いい形を作っていかな 成の仕方がいいのかというようなことも もあります。特に五日制をこれからやっ もう少し我々も関係者の皆さん そうい

日本語教育の振興



野の一つなのではないかと思います。 するということは、日本の文化を理解し 需要のある所にできるだけのサービスを 非常に印象深く感じたのですけれども、 になってきてるんだなあということを、 ちが日本語に関心がある。そういう時代 がっていた。それくらいたくさんの人た スペイン語に次いで日本語が二三%も挙 ュニケーションで必要となる言語として たデータで、アメリカで今後世界のコミ た各国の日本語観に関する世論調査をし ていただくという意味からも、大事な分 私は日本語の海外普及という点か 今までの日本というのは本当

> 支援の仕方をさらに工夫していくことが 術家や国民のニーズをうまく受け止めた 喜ばれていると思います。これから、芸 やっていただいて、ソフトの分はかなり これは補正予算で国立文化施設の整備を 必要だと思っています。 伸ばしてきておりますので、 当初予算は頭打ちになっているのですが その点では

文化と教育



習とか横断的な学習の中で、これはツー ルとしていくらでも使えるわけです。 てると思うんですよね。だけども総合学 いうものを少し入れていただく。音楽に でしょうけれど、学校教育の中でもそう すね。もちろんそういうことは家庭教育 父の影響で戦後絵本のない時に、錦絵な しろ美術にしろ比重が非常に下がってき 非常に大事じゃないでしょうか。私がこ ようなことが背景にあるんだと思うんで んかで読み聞かせをしてもらったという ういう分野が好きになったのは、 ●永井 それから文化と教育との連携も 多分祖

長が終わった今、これまでのような右肩 若干のタイムラグがあって遅れて普及し 関係があるとすると、やはり経済的な海 のは一つの国の国力、経済活動と密接に だと思うんですね。ただ、言葉というも えてる暇もないくらいこのニーズの高ま 何のために日本語を普及するのかとか考 がどんどん高まってしまうわけですね。 を普及しようという前に、海外でニーズ すが、ともかくこちらから海外に日本語 庁も国際交流基金もそうだったと思いま ことが起きてるかというと、多分、文化 に増えてるということですね。どういう ですから、過去三四年の間に一〇〇倍 の調査ですと二〇九万人に増えてるわけ だといわれています。それが一九九八年 で日本語学習をする人の数は大体二万人 ろうと思います。ちょうど今が立ち止ま うふうに単純に考えるのは非常に危険だ 上がりの傾向で今後とも増えていくとい てくる。そうだとすると、経済の高度成 外進出に対し文化だとか言葉というのは りに忙しく対応してきた。これが今まで 六四年の東京オリンピックのころ、海外 に恵まれていたなと思うんですね。一九大貴丸でナ。今後の日本社会の果園は、 ●榎 私は永井さんのおっしゃることに って考えるのにいい時期と思います。

> サイドも意識としてはかなりそういう気 文化と教育の関わりをもう少し深めてい 原点に戻る時に来てるように思いますね。 そういう情操あるいは芸術教育というの 茶であり花でありあるいは和歌であり、 ことになってきてると思いますし、 くということは、私共にもとても大事な が常に根本にあった。もう一度そういう りましたね。それからあとは習い事、 五経、まさに人の道を説くことから始ま 会構造に変えなくちゃいけないと思うん 優れていれば、それを引き上げていくと 学校の成績は悪くてもどこか別の才能で ●林田 永井さんもおっしゃったように があるのではないか。昔の教育は、 は教育は人間教育の原点にまた戻る必要 です。そういうことからいいますと、私 いう多様な価値観がビルトインされた社 テムから、 が評価されて振るい落とされていくシス 単線的な仕組、要するに一つの基準で人 いかに複線的な仕組、 学校 四書 お

えば、日本人の独占物だと思っていたおてらと思います。こと、幸夜りりとすで しゃべってるわけですね、私を飛び越え でやはり食べ物も日本人の独占物じゃな う回転寿司が大はやりだと。そういう中 のアメリカ人が注文してる。パリではも 本人なんか片隅で狭くなっていて、現地 寿司がニューヨークの寿司屋に行くと日 海外にもっと広まっていくシステムを作 意味においては今の時期は今後日本語が 発想があっていいと思うんですが、そう 国語教師というよりも日本語教師という できるのかをもっと考えるべきですね。 どういうふうにしたら日本人だけではな 時期に入っています。そうであるならば、 て。日本語は日本人の独占物ではなくて のイギリス大使が、お二人とも日本語で さに日本語も同じです。この前もディナ いる時代に入ってると思うんですね。 に頭を切り替えていくことを求められて うことは、とても大事なことになってき どもたちにいい芸術体験を提供するとい か。これからの文化行政にとっても、子 持ちが高まってきたのではないでしょう いう頭の切り替えが重要です。そういう くて外国の人もシステマティックに勉強 人類の共通財産なんだと頭を切り換える ・テーブルで私の右のロシア大使と左 人類の共有財産なんだというふう ま

てい談 2000 年紀の国際文化交流を

●林田革樹氏 日本の文化の振興と日本文化の海外 なども大きなテーマである。

日本語は二〇九万人というのは、 ○万人。その比較からいいますと、 二二〇〇万人が外国語として勉強してい るんですね。ドイツ語の場合には一五〇 るのだと思います。フランス語の場合 しまうのかという、 大変な分かれ道にあ もっと まだ

なければいけないということが課題にな 際的な支援の体制を作るようにしていか さらにこれからは無形文化ももう少し国 ろいろあるなという感じがしています。 っていかなければいけないところが、 躍できるような条件整備をどうやってや テムとして、そういう方々が安心して活 とか体験の問題だとか、もう一つはシス 的に協力するだけの人材は言葉の問題だ が、今おっしゃったように、それを国際 かなりそういう体制ができてきたのです ると思いますね。 っていくかというあたりではまだまだや ●林田 これまで日本の国内については VΣ

国際文化交流 地域における

●林田 見ていますと、 動をしていただくということを応援する それぞれの地域の人たちと一緒に芸術活 国の芸術家に日本のいろいろな地域で、 制度を作っています。 イン・レジデンスというような形で、 いてですが、文化庁では、アーティスト・ における国際文化交流の最近の動きにつ 次のテーマとして、 非常にいい交流が行われ いろいろな実例を 日本の地域

への紹介という両面で国際文化交流が 重要。また、文化財の保存について協 力体制の充実や人を育てる面での協力

うなことを感じます。 ると同時にいい刺激になってるというよな文化遺産が自国になければいけません 榎 際協力は、どの国でもできるわけではな まりは世界的な現象と思いますね。そう いのだろうと思います。まず非常に豊か いう中で、文化遺産の保存に対しての国

榎 気付けられます。 対する関心の高まりに対しては非常に勇 身の狭い思いをされるような状況が、 分の行政区域の中に文化施設が一件もな せんですし、 務省に入った直後に地方へ出張した時は でした。と申しますのは、三〇年前に外 際。これは私にとってみると大変な驚き ドは二つあると思うんですね。文化と国 ました。行くたびに今地方のキー・ワー たいと思いまして、ずいぶん各地を回り け国内のいろいろな所を見せていただき ですから、逆に日本にいる時はできるだ いでは地方での文化、国際というものに に出てるわけですね。そういう意味にお のほうでいっぱいであった。それが、自 もう国際ということに全く関係ございま いというのは、市長さんなんかは大変肩 私も仕事がら海外生活が長いもの 文化というよりも企業誘致

ETで来る青年が毎年六〇〇〇人近くい 町村の数は三二〇〇あまりで、そこへJ 常に大きいと思いますね。日本国内の市 プログラム、これの持つインパクトは非 そういう中での一つの典型例はJET

ると思います。大変な正念場にかかって ていくようにすれば、もっともっと増え 勉強してもらえるインセンティブを考え いるなというのが私の意識です。 工夫をして、外国の方に日本語を喜んで

文化財の保存協力

Y



力を入れてここ数年努力をしているとこ 各国からの期待の高まりに対してかなり 役に立つ面があるというようなことで、 ろではあるんです。 る物についても、日本の経験が非常にお のヨーロッパとは違う文化財の特色のあ ると思っています。それからアジア地域 入して非常に日本でも関心が高まってい ます。この点では特に世界遺産条約に加 ということが大きな分野になりつつあり いう点ではもう一つ、文化財の保存協力 ●林田 別のテーマですが、文化交流と

今、文化財保存に対する関心の高

目の独立の項目で立ててもいいと思いま ど、私は文化遺産の保存というのは四番 います。 技術者、 というのを三本柱に立てられましたけれ それから平和への協力、それと文化交流 国際貢献策の四本目の柱に位置付けてい 存に対する国際協力というのは、 そういうことからしますと私は文化財保 厚さがなくてはいけませんし、協力です ロンドンでスピーチをされて、ODA、 いくらいの重みが実はあるのだろうと思 から資金的な経済力もなければいけない また、その保存技術を抱えている膨大な 一九八八年に当時の竹下総理が いろいろな学術研究という層の 日本の

化へのインパクト、国民意識に対する変 思います。 化というのは非常に大きいものがあると るわけです。 ●永井 というのはどうなんでしょう 専門家はいるのですが、その層の広がり てなんですけれども、 か、貢献できるわけですね。それについ は大いに日本の保存の技術を輸出という っておられると思います。そういう所で すね。カンボジアもかなり力を入れてや アに行きますと、あれは誇らしいわけで い貢献だったと思いますね。インドネシ い出すのですが、あれはとてもすばらし ボルヴドゥー これのもたらす地方の国際 確かにすばらしい ルのことを私は思

ましたね。 とだったんですけども、それ以上にその めはネイティブの外国語を学ぶというこ ●永井 JETが一番身近ですよね。 に立ったと思いますね。量の効果を感じ 人物の持っている文化の交流に非常に役

あるように思いますね。 日本の交流の中では非常に大きな意味が 面もあるようで、そのこともこれからの 人が、かなり各国のリーダーになってる けじゃなくて各地で日本を体験している にもJET経験者がいる。それも東京だ ろいろな国でいろいろな分野で政府の中 ●林田 最近外国へ行ってみますと、

に向けて 二十年紀の 国際文化交流



林田 コの事務局長に松浦さんが、 くるだろうと思います。それからユネス ップがあって、文化交流も盛んになって 近々に日韓の共催でワー 日本人とし ルド

てい談 2000 年紀の国際文化交流を考える

きたいと思いますけれども。 ようなことがありましたらお話しいただ 感じます。少し二千年紀に向けての夢の てくるのではないかというようなことも て初めておつきになったというようなこ かなり国際的な交流協力も広がっ

のヨーロッパのメディアの反応には、結 第二段階。第三段階では、文化の面での 等弁務官になられて活躍された。これが 後、お金は出すけど人の面での貢献はな なかった日本が、ODA、政府開発援助 高速も世銀から融資を受けなければ造れ うとか、俳優を交換し合い技術者やスタ 曲を交換し合うとか、演出家を交換し合 つくるということが、とても大事で、戯 おもしろかったですね。それと、一緒に また始まるわけでね。何が課題なのかと あと。難しいというところからすべては 構意地悪なものがあったのですが、その 国際的なリーダーシップをとること、今 いという批判の中で、緒方さんが難民高 の分野で積極的に貢献をしてきた。その ます。第一段階は、ともかく戦後、東名 誕生によって第三段階に入ったと思って いうと、実は松浦ユネスコ新事務局長の ですね。日本の国際貢献ということから ということに大きな意義があると思うん を扱っている機関の長に、日本人がなる ユネスコという国際機関の中で唯一文化 の総裁でも、 ッフが共に仕事をするとかですね。 いうことが見えたということが、とても ども、なかなか交流というのは難しいなもって提示したつもりだったんですけれ 松浦事務局長が生まれるに当たって 私は、 IMFの総裁でもなくて、 UNDPの総裁でも、

の専門分野の舞台芸術でいいますと、国

際交流基金の事業を、そっくりそのまま

のではなくて、そこからまた新し

い可能

うよ

性が出て、かえって増えていくとい

い野田フアンが、熱気こもる形で拍手し非常にすばらしい作品でした。日本の若 性」という中で、文化も段々統一されて てたのが、非常に印象的でした。ちょっ ブリックシアターで拝見をしましたが、 ど、その多様性が広がっていくんだとい じゃない。文化はぶつかればぶつかるほ で「グローバリゼーションと文化の多様 ス人がいるのですが、彼はシンポジウム をやったジャック・アタリというフラン と話は飛びますけど欧州開発銀行の総裁 作をやることによって、タイの文化と日 うことを言っていました。まさに共同制 本の文化の二つあったものが一つになる いっちゃうという見方があるけど、そう 私も野田秀樹さんの「赤鬼」はパ

> けております。 知的な世界の中においても世界をリー 日本は、いわゆる文化だとか文明という 浦事務局長の活躍というものを通じて、 きるのかという意識が非常にあったのだ 背景には日本人は算盤勘定はできても文 てくる。そういう端緒を開いたと位置付 していける国なんだという評価が高まっ ろうと思うんです。私はユネスコでの松 化の面で世界をリードするというのがで

になってきたと思うんですね。例えば私 う段階から一緒にものを作るというふう 第二段階か第三段階にもう既になってま るというふうに思います。 意味で夢のある仕事が目白押しで待って 時代というものを築いていく。そうい 化交流というものを充実させて、日韓新 た、その延長として二〇〇二年の日韓文 年事業、二〇〇一年の日英文化事業、ま 二〇〇〇年は日本とオランダの四〇〇周 面で盛り上げていきたいと思いますし、 して、それは互いのものを見せ合うとい ●永井 交流ということから考えますと そのほか沖縄サミットも、是非文化の Š

当外国にお世話になってる国です ことについては必ずしも十分経験のない を受けて日本の中で育ててきたというこ 演劇の世界でもそういうものが盛んに行 なくて、言葉の違いという難しさのある これまでのような音楽のような分野では になって話題になったように思います。 たような共同制作的なことが非常に盛ん うなことを実感いたしました。 する面も含めて、もう少し努力していか 関係者、我々も一緒になって何かお返し 分野ではないかと思うんです。日本は相 とはかなりできても、一緒にやるという われてきている。日本はこれまでは影響 ●林田 特にここ二、三年、おっ 分私は東京というのは、ある意味にお 世界でも東京とニューヨークとパリ、 なければいけないなという感じがします 一か所にいてウィーンフィルであろうと タリアオペラだろうと、観られる街は ンくらいだろうというんですね。多 東京にいるヨー ロンドン以上の文化の消費地 ロッパの外交官が 消費地である しゃ から、

> ころ、 特権というのは、消费ったみたいなんです。 団がタイ人のことだと受け取った節があ 立なのですが、その同質で徒党を組む集 でした。タイ人の演劇関係者に聞いたと た受け取られ方をしました。一番喜んで 思ったんですけども、タイでは少し違っ そのまま国際的に通用するというふうに 体の動きがきれいで、そのすばらしさが 統舞踊の基礎の入った俳優さんたちの身 はやっぱりここからすべてが始まるとい 業で国際交流基金の御援助も受けてやら 成一〇年もう一回、これは私共の実施事 日本の戯曲、日本の演出家でつくりまし 鬼」という演劇です。タイの俳優さんと 思います。 こから芸術を発信をしていくということ テーマは同質なものと異質なものとの対 もらったのは、タイにいる欧米の人たち うことですね。実はこの作品はタイの伝 せていただきました。それで感じたこと タイに行きました。日本での公演が成功 た。まず日本でつくりまして、それから はタイとのコラボレーションでございま だいたのですけども、非常に成功したの 私共が受けまして世田谷でやらせていた 拓していける余地の大きい分野のように 化市場から作家を育て世界に送り出して いろいろとありますが、 レとか、芸術祭だとか共同制作だとか、 画という視点でいいますと、 ですよね。やはりこれからの夢のある企 とを使って芸術家を育てていくとか、 しこれではもったいないというので、平 した。これは野田秀樹さんの作品で「赤 いくという機能は、これからまだまだ開 いや、あれは必ずしもよくない。 消費地であるということす。私たちは普遍生を やはり日本の文 ビエンナー そ

交流しようという時にやはり事務局機能 う機能ですね。それと支援の組織。国際 ●永井 そうですね。本当に育てると がまだ弱いのですね。

おります。 実際の活動が広がっていってれば、もち 援体制作りみたいなことは、 せていただきたいと思います。 実していくことができるだろうと思って くるでしょうし、我々もそのあたりは充 ろんそういうニーズもこれから高まって から必要になりますね。でも、 やったような国際交流ができる支 確かに人を育てることだとか、 本日は、このあたりで終わら 非常にこれ それだけ 本当にあ

てい談 2000 年紀の国際文化交流を考える

次号 (2月号) 予告

について・答れての改善接続の改善で初等中等数 等中等教育と大教育審議会 で」答申

特集

接初等 続のの の改善について中等教育と高 木村 岡田修二/舘 昭/村 孟/安西祐一郎/ 教育と高 等教育との -根本二郎

接続の改善について 中央教育審議会 ◆初等中等教育と高等教 ・ の文部時報2月臨時増刊号 **欧会答申** 等教育との 月下旬刊行予定

-安原義仁/ / 矢野 真和 /本間政雄/大田弘子 順

●事例紹介

-神奈川県立麻溝台高等学校

ほ

か

乜

論文 ェッ

投稿歓迎

「読者からのたより」投稿規定

●「文部時報読者アンケート」

文部時報読者アンケートは添付のはがきの

際に紹介するため、インターネットホームペ -ジを利用して情報を提供しています。また、 Bどもホームページ試行版を設け、情報を提 供しています。

ホームページアドレス:

MESSC. 61 月刊

●著作権所有--

子どもホームページアドレス:

「読者からのたより」欄への投稿、「文部時 #読者アンケート」を歓迎します。本誌を読 んでの感想、御意見等をお寄せください。

① | 件につき400字以内 ②住所、氏名、年 ☆ 職業、電話番号を明記(誌上匿名可) ③ 機裁分には蒸謝進品

※文章を一部手直しさせていただくことがあ

ります。 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-2

文部省大臣官房政策課「文部時報」編集部 ※電子メールでも受け付けております。

低かに電子メールでも受け付けております。 家先名「iiho@monbu.go.ip」

コンピュータネットワークを 利用した文教行政の広報

文部省では、我が国の文教施策等を広く皆

http://www.monbu.go.jp/(半角入力)

http://www.monbu.go.ip/kodomohp/index.htm

▼新年あけましておめでとうございます。西暦二○○○年という節目の年を迎え、いつもとは違った気持ちで新年を迎え、いつもとは違った気持ちで新年を迎え、いつもとは違った気持ちで新年を迎えられた方も多いのではないでしょうか。二○世紀最後の年、読者の皆様にとってよい一年となりますよう願っております。

「いわゆる二○○○年問題がありました。文部省だけでなく各省庁きました。文部省だけでなく各省庁きました。文部省だけでなく各省庁きました。文部省だけでなく各省庁きました。文部省だけでなく各省庁も不測の事態に備え、年末年始は担当職員が泊まり込むなどの体制をとっていたよもあり、霞が担づくにつれるの事態に備え、年末年始は担当職員が泊まり込むなどの体制をとっていたよもあり、最が関連がで見てきました。文部省だけでなく各省庁も不利の事態に備え、年末年始とはプロマンで、二○○○年最初の特集は「国際文化交流の推進」です。我が国が国際文化交流の推進」です。我が国が国際文化を創造し、文化による国際貢献を果たしていく上

●巻頭言 ・ 本頭言 ・ 本面に ・ 本面に

中曾根弘文

でしたので、訂正しおわハッケンス」は「ロバーオ明憲」は「鈴木昭憲」、本明憲」は「鈴木昭憲」、 おわび申し上げます。が、九頁下段中「ロバー・ハッチンス」の終い、九頁下段中「ロバー・一一年一二月号五頁中 の誤り

ろしばとっ M

文部時報 1月号

で、国際文化交流の推進は不可欠のものです。そこで特集は、我が国文化の各分野における国際交流の現状化の各分野における国際交流の現状化の各分野における国際交流の現状化の各分野におけますので御一読くださとなっておりますので御一読くださとなっておりますので、当に世ひ紹介してほしい記念館の御要望をいただきました。近いうちにぜひ紹介ただきました。近いうちにぜひ紹介ただきました。近いうちにぜひ紹介ただきました。近いうちにぜひ紹介したいと考えております。御要望にはできるだけおこたえしていきたいはがきでお送りください。最後になりましたが、本誌にとっても充実した一年となるようがんばっても充実した一年となるようがんばってまいりますので、今年もよろしくお願いいたします。 (K・M) さ容あ状文の

第1481号

-文部省®

●発行所――株式会社 ぎょうせい

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-12 本部 〒167-8088 東京都杉並区获窪 4-30-16 電話。03-5349-6666(営業部)

URL http://www.gyosei.co.jp ●印刷所---株式会社行政学会印刷所

平成12年1月10日印刷 平成12年1月10日発行

定価610円本体581円(〒84円) 年間購読料7,320円

トいに介いで

・ただし、増大号、臨時号の場合は別に代金を申し受けます。 なお、臓臓のお申し込みは直接営業所またはもよりの書 店にてお願いします。

体誌の掲載のうち,意見にわたる部分については,それぞれ筆者個人の見解であることをお断りいたします。

ISSN 0916-9830 ●この刊行物は再生紙を使用しています。 ated in Japan 2000

後

84